

# 業務変革コンサルタントが分かりやすく解説する： 『グローバル・ベンチマーキング手法』を活用した 本社機能パフォーマンスの個社診断の考え方

■日時■ 2019年 9月6日 金曜日 13:00 ~ 17:00

■会場■ 東京・表参道 「アイビーホール」 ※地下鉄：銀座線・半蔵門線・千代田線「表参道」駅 B3 出口徒歩5分

■講師■ 株式会社 野村総合研究所

コーポレートイノベーションコンサルティング部 上席コンサルタント 森沢 徹 氏

※講師プロフィールは裏面をご参照ください。

## ■講座のポイント紹介■

「グローバル・ベンチマーキング手法」とは：

（株）野村総合研究所（NRI）と米国ハケット社（The Hackett Group）の戦略的提携により提供する評価分析手法です。これは、クライアント企業個社毎に本社機能（財務経理、人事、購買、IT等）のパフォーマンス（効率+品質）を、同社が保有する2000社のグローバル企業のデータベースと直接で比較・可視化し、改革領域の優先度を明らかにする欧米企業には広く浸透した実践的なベンチマーク手法です。日本でもここ数年間で、個別本社機能やシェアードサービスセンター機能のベンチマーク萌芽事例が生まれています。

本講座では、本社部門の戦略スタッフの皆様と同手法を分かりやすく紹介すると同時に、日本企業に共通にみられる「本社機能の脆弱性」についてその構造的要因を分析・解説いたします。

またグローバル有力企業におけるベンチマーキング起点の管理間接機能革新の事例研究を詳細にお届けします。同社の改革ストーリーを追うほどに、日本企業では稀なCX0（X機能の統括トップ）の責任権限の大きさと、リーダーシップの強さが顕著に理解できます。

## ■ご参加頂きたい皆様■

経営企画・財務経理・人事・購買・IT・シェアードサービス部門などにご在籍の皆様で：

- ・グローバル本社機能のあり方を世界の有力企業事例と共に再確認されたい方。
- ・なぜ、今、日本企業にとって本社機能のグローバル・ベンチマーキングが必要かを理解されたい方。
- ・ベンチマーキングの具体的な手法を理解されたい方。
- ・先進改革事例、グローバル企業が抱える最先端の経営課題認識について現場業務変革コンサルタントと意見交換したい方。

## ●参加要領●

●受講料● 1名（税込、資料代含む）

正会員	34,560円	本体価格 32,000円
一般	37,800円	本体価格 35,000円

●当会ホームページからお申込み下さい。FAX、または下記担当者宛E-mailからもお申込み頂けます。

企業研究会セミナー

- お申込み後（開催日1週間～10日前までに）受講票・請求書をお送り致します。
- お申込後のキャンセルは原則お受け致しかねますので、ご都合が悪くなった際は、代理出席をお願い致します。
- 最少催行人数に満たない場合ほか、諸般の事情により開催を中止させていただく場合もございます。
- 申込書をFAXでご送信いただく際は、ご使用のFAX機の操作方法（O 発信の有無など）をご確認の上、FAX番号のお間違えにご注意ください

一般社団法人 企業研究会 担当：早瀬

〒102-0083 千代田区麹町 5-7-2 MIFPR 麹町ビル 2F  
 TEL 080-1393-5598(早瀬)・03-5215-3511(代表)  
 E-mail hayakan@bri.or.jp/FAX 03-5215-0951

弊会ホームページからのお申込みが便利です。 <https://www.bri.or.jp>

191608-0106※		19-9-6 グローバルベンチマーク手法の活用の考え方	
会社名			
住所	〒		
TEL	FAX		
部課 役職		フリガナ	
		お名前	
e-m			
部課 役職		フリガナ	
		お名前	
e-m			

※お客様の個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

※DMの停止・登録情報変更は、①弊会ホームページ右下「変更フォーム」、または、②専用ダイヤル【03-5215-3512】にてご連絡ください。



**森沢 徹 氏**

1991年早稲田大学大学院理工学研究科 電気工学専攻修士課程修了。同年、野村総合研究所入社。経営戦略、業績評価管理、CSR、グローバル経営プラットフォーム構築などのコンサルティングを行う。1996年ハーバード・ビジネス・スクール経営学修士(MBA)取得。R.S.カプラン教授に師事。現在、野村総合研究所 コーポレートイノベーションコンサルティング部 上席コンサルタント。

<主な著書>

『御社の意思決定がダメな理由』(共著、日本経済新聞社)

『2010年日本の経営 ～ビジョナリー・エクセレンスへの地図～』(共著、東洋経済新報社)

『実践バランス・スコアカード』、『バランス・スコアカードの経営』(共著、日本経済新聞社)

13:00

**1.なぜ、今、本社機能のグローバル・ベンチマーキングか？**

- コーポレート機能の弱体化、相次ぐ環境変化対応に伴う間接機能の肥大化
- 場当たりの人事ローテーションに伴う海外拠点の間接機能の混乱・弱体化
- 日本企業の「ベンチマーキング」に対する誤解と正しい理解
- ベンチマーキング活用の今日的価値：
  - ～ 経営トップ視線での問題点の可視化、
  - グローバルオペレーション戦略実現へ向けた
  - 本社機能の総点検、M&A/PMIに備えた本社プラットフォームの構築 ～

**2.ベンチマーキング手法の紹介、日本企業の対応**

- ベンチマーキングの具体的手法論の紹介
- 「機能パフォーマンス (Functional Performance)」 着眼の重要性
- NRIが提供するサービス、サポート内容

14:50

休憩

15:10

**3.先端企業のベンチマーク起点の業務改革事例**

- 国内製造業A社におけるシェアードサービス機能のベンチマーク (投影のみ)
- 国内消費財B社におけるIT機能のベンチマーク (投影のみ)
- 海外企業C社の調達購買機能改革のベストプラクティス事例
- グローバル企業の業務改革に対する姿勢と改革リーダーシップ
- 日本企業のコーポレート改革に対するニーズ、着手に至るまでの検討パターン

**4.参加企業とのインターラクティブ型質疑応答、意見交換**

- セミナー参加企業のコーポレート機能に関する問題意識、過去の改革の軌跡
- 【提案】 コーポレートが獲得すべき画期的新機能：経営インテリジェンス機能
- 【参考】 The Hackett Best Practice Conference参加の意義について

《質疑応答・ディスカッション》

(アンケート記入など)

17:00

※講師と同業企業・同職種の方はご参加頂けない場合がございます。予めご了承ください。